

雑誌業務

2025 年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー
東北大学附属図書館 情報管理課雑誌情報係 中島大

本日の内容

1. はじめに
2. 雑誌とは
3. 雑誌業務のながれ
4. 契約に関わる状況
5. オープンアクセスの動向
6. 所属を超えた連携

1. はじめに

…図書館では通常、資料を便宜的に
「図書」「雑誌」に分けて管理していますが…

大学図書館職員初任者マニュアル（第3.1版）

- では、図書と雑誌の資料費は

1. はじめに

「学術情報基盤実態調査」における2023年度図書館資料費平均

図書	雑誌	電子 ジャーナル	電子書籍	データベース	その他	図書館資料 費合計
14,070千円	11,699千円	47,842千円	2,892千円	12,742千円	2,363千円	91,607千円
15.4 %	12.8 %	52.2 %	3.2 %	13.9 %	2.6 %	100.0 %

「学術情報基盤実態調査」から全大学の平均値を用いて作成

- さらに…
 - 雑誌費は毎年高騰を続ける
 - 購読タイトル数は減少傾向

2. 雑誌とは

雑誌の特徴

- ・ 単行書に比べ**速報性**がある

雑誌の種類

一般誌と学術雑誌。大学図書館では学術雑誌の比率が高い。
大学図書館職員初任者マニュアル（第3.1版）

資料の形態

- ・ 冊子体
- ・ 電子ジャーナル（EJ）
- ・ データベース（DB）
- ・ その他 CD-ROM、USB、DVDなど

3. 雑誌業務のながれ

- 冊子体



- 電子ジャーナル



3. 雑誌業務のながれ

選定

- 職員が直接選定することは少なく、意見調整が主な業務

学術雑誌の選定は多くの場合、教員を主体とした会議等において各図書館の資料選定基準に則り審議されています。

大学図書館職員初任者マニュアル（第3.1版）

「調整」の時の検討事項は様々

- 誰が払うの？
 - 大学？図書館？学部/研究科？研究室(教員個人)？
- 希望する雑誌を購読/購読中止できるの？
 - どれだけ有用な資料であってもお金が無ければ買えない
 - パッケージなどの契約条件により、購読中止できない場合もある
- 利用統計やImpact Factor / CiteScore 等で取捨選択すれば良いのでは？
 - 図書館としては少数意見も取り入れる必要がある

3. 雑誌業務のながれ

契約

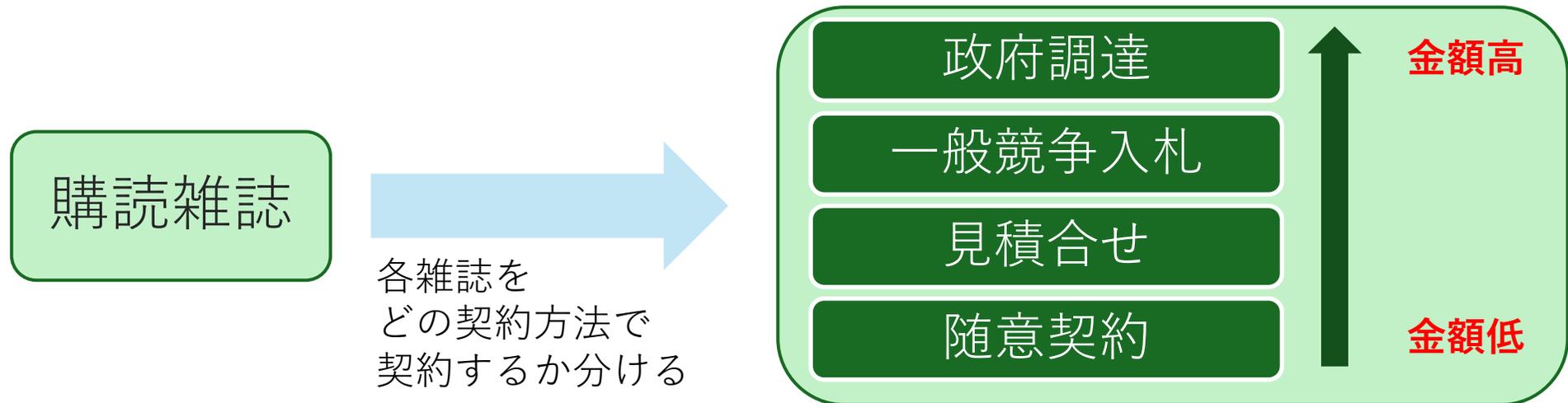
- 雑誌業務の特徴の1つ
- 電子ジャーナルの契約/価格に関わる要素を確認
 - パッケージ、セット情報
 - 同時アクセス数
 - サイト定義（シングルサイト・マルチサイト）
 - FTE（構成員数）、Tier（機関規模）
 - 価格上昇率
 - 為替レート
 - 代理店手数料

近年、**転換契約**などの**オープンアクセス契約**も増加

3. 雑誌業務のながれ

契約

- 契約金額による違い
(東北大学を例に)
 - 金額が大きくなるほど多くの手続きが必要で時間もかかる



- 発注漏れ、誤発注に注意！！

3. 雑誌業務のながれ

受入・利用設定

- 冊子体

- 図書館システムに登録
- 未着・欠号管理

臨時増刊号など、
イレギュラーな事態の
対応も……

- 電子ジャーナル

- アクティベート
- アクセスチェック

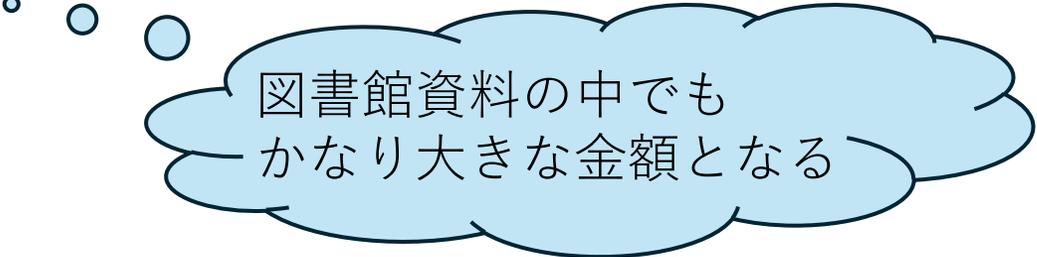
契約した電子ジャーナルが
確実に利用できているか確認
する膨大な作業

3. 雑誌業務のながれ

支払い

- 前払い
- 後払い(都度払い)

- 精算
- 学内振替



図書館資料の中でも
かなり大きな金額となる

3. 雑誌業務のながれ

提供

- 冊子体
 - 館内や研究室に配架
- 電子ジャーナル
 - EJリスト、OPAC、リンクリゾルバ
 - リモートアクセス（学認、VPN）
 - トラブル対応 アクセス障害、不正アクセス

3. 雑誌業務のながれ

保存・分析

- 冊子体の保存
 - 製本

- 分析
 - 利用統計
 - アクセス数
 - ダウンロード数
 - アクセス拒否件数 →次年度以降の参考に

4. 契約に関する状況

- ビッグディール
パッケージ契約。個別に電子ジャーナルを購読するよりも安価に多くの雑誌が購読可能。
- オープンアクセス出版モデル
論文を「読む」ために料金を支払うのではなく、論文をOAで「出版する」ことに主眼を置く。OAで出版する際に著者等が論文出版加工料(APC)として出版費用を支払うモデルが主流。
- 転換契約
購読モデルからOA出版モデルに転換させることを意図。電子ジャーナルパッケージ購読料と論文出版加工料(APC)にあたるOA契約金額を1つの契約としてまとめ一括で支払うRead & Publish契約などがある。

4. 契約に関する状況

- 大学図書館では雑誌費高騰は長年の懸念事項
- 研究者の関心も高い
- ビッグディール契約、転換契約など図書館も策を講じてきたが、みんなが納得する状況を作るのは難しい

「大学図書館職員初任者マニュアル」の雑誌選定での記述

利用統計など、状況を分析し、各大学の規模、利用方法に適した契約方法（PPV, アグリゲータ等）へ変更を検討することも、**限られた予算内でタイトルを維持する方法として有効でしょう**

5. オープンアクセスの動向

- 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針
(令和6年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定)

「我が国全体での購読料及びオープンアクセス掲載公開料 (APC: Article Processing Charge) を含む経済的負担を適正化する」

「公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者 (法人を含む) に対し、該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づける」

5. オープンアクセスの動向

- 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針
(令和6年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定)

「学術プラットフォームに対する大学を主体とする集団交渉の体制構築を支援し、交渉の取組を通じて研究コミュニティの経済的負担の適正化を図る。」

Open Access for Scholarly Empowerment (OASE)

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の実現を目標に、政府からの体制構築の支援を受け、グローバルな学術出版社等との大学を主体とする集団交渉のために、2024年に発足したチーム。

6. 所属を超えた連携

- 学内での協力

- 契約、支払：

- 調達・経理・会計系と協力

- オープンアクセス：

- 図書館単独の取り組みでは限界があり、研究推進系や情報系との連携の必要性に言及されることが増えている

- 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）

- Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources

- 電子ジャーナル等の電子リソースに係る契約、管理、提供、保存に係る総合的な活動や、それらの業務に携わる人材の育成等を通して、わが国の学術情報基盤の整備に貢献することを目的とする。

ご清聴ありがとうございました

参考文献

- 東北地区大学図書館協議会研修部会. 大学図書館職員初任者マニュアル. 第3版, 2023. https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/fresh_manual3.html, (参照 2025-07-10).
- 学術情報基盤実態調査令和6年度大学図書館編. e-Stat. <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?tclass=000001227044&cycle=0>, (参照 2025-07-10).
- 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針. https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf, (参照 2025-07-10).
- OASE: Open Access for Scholarly Empowerment. <https://oase.jp/>, (参照 2025-07-10).
- JUSTICE 大学図書館コンソーシアム. <https://contents.nii.ac.jp/justice>, (参照 2025-07-10).
- 大学図書館コンソーシアム連合. 電子資料契約実務必携. 第2版, 2024.
- 保坂睦. はじめての電子ジャーナル管理. 改訂版, 日本図書館協会, 2023.